キキョウ末

確認試験の項(1)の目を削り，(2)を(1)とし，(1)の次に次を加える.

確認試験

（２） 本品2.0 gに炭酸ナトリウム試液20 mLを加えて振り混ぜる．これに1－ブタノール5 mLを加えて10分間振り混ぜた後，遠心分離し，1－ブタノール層を試料溶液とする．別に薄層クロマトグラフィー用プラチコジンD 1 mgをメタノール1 mLに溶かし，標準溶液とする．これらの液につき，薄層クロマトグラフィー〈*2.03*〉により試験を行う．試料溶液及び標準溶液5 μLずつを薄層クロマトグラフィー用シリカゲルを用いて調製した薄層板にスポットする．次に1－プロパノール／酢酸エチル／水／酢酸(100)混液(5：3：2：1)を展開溶媒として約7 cm展開した後，薄層板を風乾する．これに希硫酸を均等に噴霧し，105℃で5分間加熱するとき，試料溶液から得た数個のスポットのうち1個のスポットは，標準溶液から得たスポットと色調及びR_f値が等しい.

---

9. 41 試薬・試液の項に次を加える.

プラチコジンD，薄層クロマトグラフィー用 $C_{57}H_{92}O_{28}$ 白色の粉末である．メタノールに溶けやすい.

確認試験 本品につき，赤外吸収スペクトル測定法〈*2.25*〉の臭化カリウム錠剤法により測定するとき，波数1734 cm^{-1}，1637 cm^{-1}，1385 cm^{-1}，825 cm^{-1}及び783 cm^{-1}付近に吸収を認める.

純度試験 類縁物質 本品2 mgをメタノール2 mLに溶かし，試料溶液とする．この液1 mLを正確に量り，メタノールを加えて正確に50 mLとし，標準溶液とする．これらの液につき，薄層クロマトグラフィー〈*2.03*〉により試験を行う．試料溶液及び標準溶液5 μLずつを薄層クロマトグラフィー用シリカゲルを用いて調製した薄層板にスポットする．次に1－プロパノール／酢酸エチル／水／酢酸(100)混液(5：3：2：1)を展開溶媒として約10 cm展開した後，薄層板を風乾する．これに希硫酸を噴霧し，105℃で10分間加熱するとき，試料溶液から得たR_f値約0.5の主スポット以外のスポットは，標準溶液から得たスポットより濃くない.